

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●草野太郎騎手がJRA障害通算1000回騎乗を達成

7月16日(日)の3回中京6日・第1レースでシゲルタイタンに騎乗した草野太郎騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上19人目、現役では10人目となるJRA障害通算1000回騎乗を達成しました。

●吉村智洋騎手がJRA初勝利をあげる

7月16日(日)の2回福島6日・第1レースではオーキッドロマンスが1着となり、同馬に騎乗した吉村智洋騎手(兵庫・飯田良弘厩舎)は、JRA初勝利(58戦目)をあげました。

●函館競馬リーディングジョッキーは佐々木大輔騎手

7月16日(日)をもって今年の函館競馬が終了し、1回函館で8勝、2回函館で10勝、計18勝をあげた佐々木大輔騎手(美浦・菊川正達厩舎)が開催リーディングジョッキーとなりました。佐々木騎手には北海道競馬記者クラブから「北海道競馬記者クラブ賞」が贈られています。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2023年1月1日から7月9日までに実施された世界の主要レースが対象で、前回までに引き続いてイクイノックスが首位(129)をキープ。プリンスオブウェールズS(英G1)快勝のモスターダフが前回13位タイから2位(128)へとジャンプアップしました。日本調教馬はイクイノックスのほか、タイトルホルダーが第6位(124)、ウシュバテソーロが第10位タイ(122)、ドウデュース、リバティアイランド、パンサラッサ、ソールオリエンズが第21位タイ(120)にランクインしています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ウィルソントソーロがマーキュリーC(盛岡)でJpnⅢ2連勝

マーキュリーC(JpnⅢ、7月17日、盛岡、2000^円)は、5番手から差を詰めた1番人気のウィルソントソーロ(川田将雅騎手、牡4歳、父キタサンブラック)が、途中から逃げたテリオスベルを残り200^円で捉えて4馬身突き放し、かきつばた記念に続いてJpnⅢを連勝。3番人気のメイショウフンジンが3着、2番人気の昨年の覇者バーデンヴァイラーが4着、サンライズホープが5着と、JRA所属馬が上位を独占しました。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2023ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド高知は7月17日に実施され、松本大輝騎手(栗東)が第1、2戦を連勝。7月19日に行われたトライアルラウンド門別は、第1戦を佐々木大輔騎手(美浦)、第2戦を小林勝太騎手(美浦)が制しています。

●リリーC(門別)はシシャモフレンド【各地の主要2歳重賞】

リリーC(7月13日、門別、1000^円、牝馬)は、逃げた2番人気のシシャモフレンド(父シャンハイボビー)が後続を4馬身引き離し、デビュー戦に続く連勝を果たしました。

●ケンジャがウイナーC(盛岡)に優勝【各地の主要3歳重賞】

ウイナーC(6月25日、盛岡、1400^円)は、最後方から追い上げた4番人気の川崎からの移籍馬ケンジャ(牡、父ヴィットリオドーロ)が残り150^円で抜け出し、重賞初挑戦で初制覇となりました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1パリ大賞〜フィードザフレイムが追い込み決める

現地7月14日のフランス革命記念日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1パリ大賞(3歳牡・牝、芝2400^米)は、C.デムーロ騎手を背に8頭立ての最後方を進んだフィードザフレイム(牡3歳、父キングマン、P.バリー厩舎)が直線で鋭く追い込んで優勝しました。G1愛ダービー2着から中11日で臨んだアデレードリバーは先行策からいったんは抜け出しましたが1馬身差の2着。英オークスからのG1連勝を狙ったソウルシスターは3着でした。勝ったフィードザフレイムは今年4月のデビュー戦(芝2100^米)と2戦目(芝2150^米)をともに後方からの競馬で連勝。続く6月の前走G1仏ダービーは直線でもうひと伸びを欠いてエースインパクトの4着でした。

●G1ジュライC〜3歳馬シャキールがG1連勝

7月15日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1ジュライC(3歳上、芝1200^米)は、R.ライアン騎手が手綱を取ったシャキール(牡3歳、父チャームスピリット、J.カマーチョ厩舎)が出遅れながらも早めに先頭に立つと、そのまま押し切って1馬身半差で優勝しました。シャキールはこれで6連勝で、G1は前走のコモンウェルスC(3歳牡・牝、芝1200^米)に続く2勝目です。